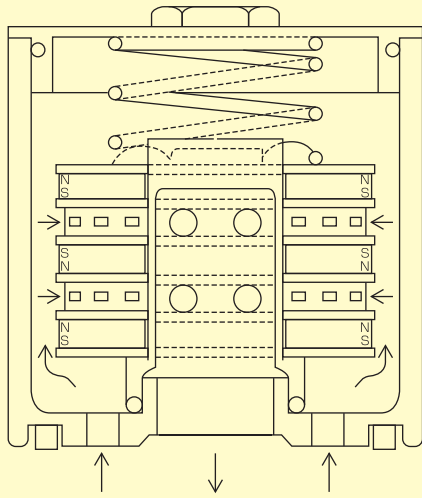


# PECS MARK-IV DIESEL

(Changeless Type Oil Filter)

## 無交換式オイル劣化予防装置



(基本図:商品と一部異なる場合があります。)

### ディーゼル4トン車 (50万km走行車)

#### 実走行テスト (大手輸送会社依頼)

- ・日野レンジャー ・型式FD3HLA
- ・Eng型式HO7D ・DPF装着車
- ・テスト走行75,000km
- ・オイルAPI規格 CF-4/DH-1 15W-40
- ・オイル交換走行km  
20,000km・20,000km・35,000km
- ・PECS MARK-IV装着のみ  
濾紙型オイルフィルターと交換
- ・オイル分析依頼先  
⇒ ジャパン・アナリスト株式会社

結果 約50,000km走行後から燃料が15%前後の向上をしている。又荷物を積載していても、坂道での黒煙の排出がないとのドライバーの報告もある。

### 適合機種:

各種ディーゼル車・船舶・産業車両・産業機械・他

環境問題・経費節減の  
コンサルタント

“ペックス”

### MARK-IV DIESEL 種類

型式No.	ネジ径	ガスケット径
D-1009	UNF1・1/2-12	108×96
D-1011	UNF1・1/2-16	108×96
D-1012	M36 P1.5	108×96
D-2003	UFN1-12	77×67
D-2006	M24 P1.5	77×67
D-2008	M26 P1.5	77×67
D-3002	M20 P1.5	98.3×86.3
D-3003	UNF1-12	98.3×86.3
D-3013	UNF1-16	98.3×86.3
D-4002	M20 P1.5	86×74
D-4008	M26 P1.5	86×74

定価 (上記型式) ¥63,000-

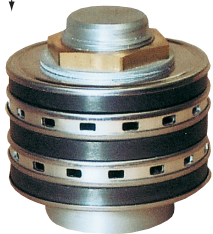
※消費税抜き



テスト車の75,000km走行時の  
摩耗粉の吸着状況

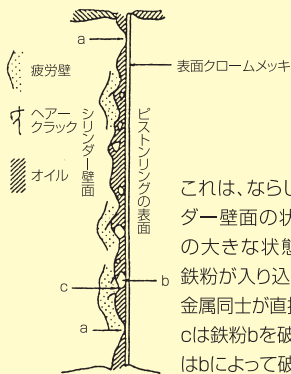
ディーゼルタイプエレメント  
(永久磁石は5層の組合せ)

乗用車タイプエレメント  
(永久磁石は3層の組合せ)



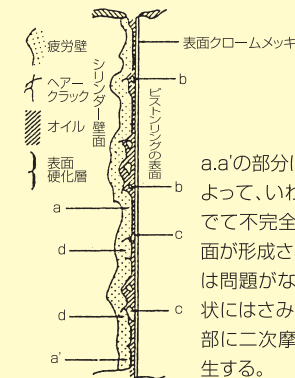
### PECS 非装着車 (図I、図II) と PECS 装着車 (図III) のシリンダー壁面状態図

図I. シリンダー対ピストンリングの一次摩耗状態 (ならし運転中の初期現象)



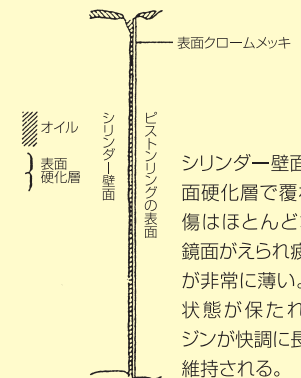
これは、ならし運転中のシリンダー壁面の状態。壁面は凹凸の大きな状態で、この間隙に鉄粉が入り込む。その結果aは金属同士が直接、接触している。cは鉄粉bを破損させる。もしくはbによって破損させられる。

図II. 二次摩耗状態図 (5000~10000km走行時)



a,a'の部分に横にならし運転によって、いわゆる、“あたり”がでて不完全ながら一部に油膜面が形成される。bの浮遊鉄粉は問題がないが、cのように楔状にはさみこまれ、その結果d部に二次摩耗が生じ鉄粉が発生する。

図III. PECS 装着車壁面状態図 (7000~10000km走行時)



シリンダー壁面が全面硬化層で覆われ、傷はほとんどなく、鏡面がえられ疲労層が非常に薄い。この状態が保たれエンジンが快適に長期間維持される。

**OFT オフト株式会社**

〒113-0033 東京都文京区本郷2-8-4 天野ビル新館2階  
TEL.03-5842-3833 FAX.03-5842-3834  
URL <http://www.oft-marvelous.jp/>

開発製造元 株式会社 ターゲンテックス

取扱販売店